

その他

本書掲載の添付文書は、本書作成時のものであり、お手元の製品の添付文書の内容と必ずしも合致しない場合がございます。また、今後諸般の事情により記載内容を改訂する場合がございますが、何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。

RDテスト「昭和」

貯 法：室温保存
使用期限：5年（外箱に表示）

RD TEST “SHOWA”

RDテスト「昭和」は唾液中のS. mutans, Lactobacilliなどのう蝕原性菌数の多少を反映し、菌数に応じた変色の程度から口腔内の衛生状態を判定するものです。

本法の原理は、sucrose培地中で通気を遮断し、37℃で培養するとう蝕原性菌は速やかに活性化され指示薬レザズリンを変色させる性質を利用したものです。

一方、検体としては、う蝕発生部位に密接に関連している菌垢も考えられますが、本法では次の理由により混合唾液を検体としています¹⁾。

- 検体の採取が容易で、定量的に使用できる。
- 比較的均一な微生物叢をもつ。
- 唾液中の微生物レベル、特にS. mutansは菌垢中の微生物レベルを反映する^{2), 3), 4)}。

【操 作 法】

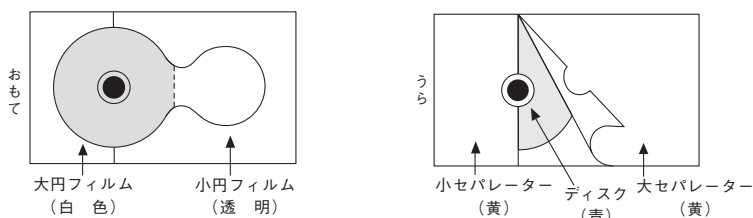
RD（レザズリンディスクの略称で青色円型ろ紙）は、直径8mmのろ紙に炭素源としてsucroseを、指示薬としてResazurin sodium saltを加えて滅菌乾燥したものです。

検査に際しては、検体（混合唾液）約0.03mLをディスクの中心部に滴加し、浸潤させたいえ、水分の蒸発を防ぐため塩化ビニルフィルムで、上下両面からはさみディスク周辺の空気を追い出す要領で密着させ通気を遮断します。

次いで恒温器に入れ（適当な台紙に貼り付けると便利です）37℃で15分間培養すると、う蝕原性菌が活性化してレザズリンを変色させます¹⁾。

変色の程度はう蝕原性菌数に応じて、青色→青紫色→紅色→白色（無色）に移行しますので、菌数との相関性^{1), 5)}を示す指導票にある比色表と対比して、口腔内の衛生状態を判定します^{6), 7)}。なお、培養は上述のように37℃15分を原則としますが、許容温度域が32～37℃にありますので¹⁾、皮膚体温を利用することもできます。その場合、本品は粘着シート状となっていますので、上腕部内側など適切な部位に貼付し、袖を降ろし15分間培養し、同様に比色判定します。

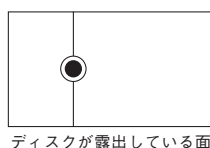
1. シートの形状および各部の名称



2. 操作の手順

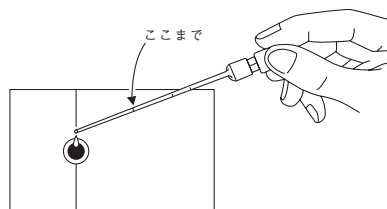
(1) シートの取り出し

ディスクに直接手を触れないように、アルミ袋から取り出したシートは、ディスクの見えるうら面を上にして水平な場所に置きます。



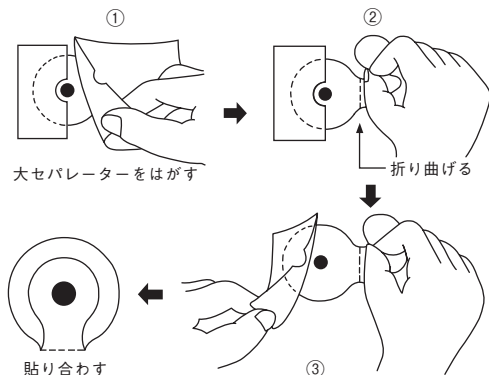
(2) 唾液の採取

検体とする混合唾液は唇の先に集めさせ、採唾スポイトにて採取し、その1滴（先端目盛が目安）をディスク中心に滴加、浸潤させます。またこれのできない幼児の場合には口腔底などからスポイトにて適当なカップに集め、よく混合してから検体とします。



(3) フィルムの貼り合せ

はじめに大セパレーターをはがし、（セパレーターの表部ははがれ粘着部に残らないようゆっくり注意深くはがしてください。）小円フィルムがディスクの中心と合うようにフィルムを折り曲げます。次に小セパレーターをはがし、フィルムの空気を指先で押し出すようにして密着させます。

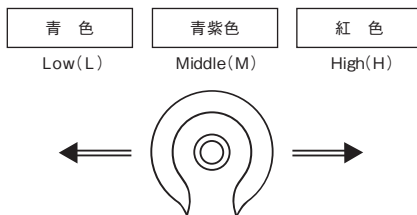


(4) 培養

密着の完了したフィルムは、37℃で15分間培養します。インキュベーターがない場合は、上腕部内側に貼付して袖を降ろし体温で培養します。いずれの場合も15分の培養時間は正しく守ってください。



- (5) 判定
 指導票にある比色表と対比し、口腔内の衛生状態を目視判定します。判定は培養後直ちに行ってください。



【使用上の注意】

1. ディスク中のレザズリンは、光によって分解しやすいので、ご使用にあたっては、必要な枚数だけシートを取り出し、残りはアルミ袋の端をしっかりと折り曲げて保存してください。
2. ディスクに直接手指を触れたり、術者の唾液が付着すると変色することがあるので注意してください。また、ディスクを直接なめないでください。
3. 唾液採取にあたっては⁸⁾
 - (1) 飲食、菌みがき及び漱口後約2時間以上経った唾液を検体としてください。
 - (2) 口をモグモグさせ口腔内の状態をよく反映した混合唾液を検体としてください。
 - (3) 集団検診などでカップ等に入れ放置された唾液はよく攪拌してから検体としてください。
4. 唾液をディスクに接種する際は
 - (1) スポイトの先端目盛までの量をディスク中心に滴加し浸潤させてください（採取量が不正確の場合変色に差が生じます）。
 - (2) スポイトをディスクに触れないよう滴加してください（触れると変色に濃淡のまだらが生じます）。
 - (3) 唾液がディスクに浸潤するまで小円フィルムを貼り合わせないでください（変色ムラが生じます）。
5. 培養時間は15分を正しく守るようにしてください。なお、判定は15分培養の直後が原則とされますが、5分の超過は許容されます。集団検診の場合はこのことを考慮した計画を立てることが望まれます。
6. 皮膚体温を利用する培養において
 - (1) 幼児の場合は付き添いの人が貼付を代行しても差し支えありません。
 - (2) シートに用いた粘着剤は、皮膚への影響がないよう十分検討してありますが、まれにそう痒感などを訴える人がいます。そのような場合はインキュベーターを活用するか、又は貼付を代行してもらってください。

※※【口腔内衛生状態の判定結果と指導票】

唾液中の *S. mutans* および *Lactobacilli* などの腐原性菌の菌数とディスクの変色段階との間には密接な相関性のあることが認められています¹⁾。

本品では3段階の変色区分を設けてLow (L)、Middle (M)、High (H) と区分しますので、それに従い添付の指導票に記入し保健指導に役立てることができます。なお、本品の活用により、次のような種々の応用も考えられます⁹⁾。

- (1) 日常診療における腐予防計画の判断情報
- (2) 歯科保健指導におけるブラークコントロールの動機づけ
- (3) 集団保健指導を行う際の口腔内チェック
- (4) 日常診療におけるリコール間隔の決定
- (5) 矯正装置を装着する際の口腔内チェック
- (6) 修復物・補綴物を装着する際の二次腐発生を防止するための口腔内チェック
- (7) フッ化物塗布その他予防処置の判断情報

また、口腔衛生の専門家でない医療スタッフでも客観的に口腔衛生状態が評価できます¹⁰⁾。

【包装】

50試験用	200試験用
シート.....50枚	シート.....200枚
採唾スポイト.....50本	採唾スポイト.....200本
指導票.....50枚(1冊)	指導票.....200枚(4冊)
使用説明書.....1枚	使用説明書.....1枚

※※【主要文献】

- 1) 眞木吉信ほか：唾液による齲蝕活動性迅速判定法としてのResazurin Discの変色特異性，口腔衛生学会雑誌. 1983；33(2)：61-74
- 2) Köhler, B. et al. : Streptococcus mutans in plaque and saliva and the development of caries, Scand. J. Dent. Res. 1981；89：19-25
- 3) van Houte, J. et al. : Relationship between the concentration of bacteria in saliva and the colonization of teeth in humans, Infect. Immun. 1974；9(4)：624-630
- 4) Svanberg, M. et al. : The salivary concentration of *S. mutans* and *S. sanguis* and their colonization of artificial tooth fissures in man, Arch. Oral Biol. 1977；22：441-447
- 5) 眞木吉信ほか：Resazurin Discによる齲蝕活動性迅速判定法，口腔衛生学会雑誌. 1982；32(4)：121-122
- 6) 眞木吉信ほか：Resazurin Disc法による齲蝕活動性迅速判定試験と齲蝕現症，口腔衛生学会雑誌. 1984；34(2)：18-26
- 7) 眞木吉信ほか：Resazurin Disc法による齲蝕活動性迅速判定試験と齲蝕発病の予測性，口腔衛生学会雑誌. 1984；34(3)：60-66
- 8) Shibuya, M. et al. : Diurnal variation of caries activity test score with the RD test : Bull. Tokyo dent. Coll. 1986；27(3)：87-94
- 9) 眞木吉信ほか：Resazurin Disc Test—唾液による齲蝕活動性迅速判定法，歯科学報. 1984；84(2)：369-371
- 10) Yoshino, A. et al. : Association of the quantitative oral health status of patients with COVID-19 with their organ status and immunity: A single-centre observational study. Intensive Crit Care Nurs. 2023；77：103433

※【文献請求先・製品情報お問い合わせ先】

株式会社ジーシー昭和薬品
 〒113-0033 東京都文京区本郷一丁目28番34号
 TEL：0120-648-914
 <受付時間>9:00~17:30 (土・日・祝日・弊社休日を除く)

製造販売元

株式会社ジーシー昭和薬品
 東京都板橋区蓮沼町76番1号

PAT. 1670851
 U.S. PAT. 4582795
 6360K-24FA

※



歯周病予防&メンテナンスのための微細ソフト毛歯ブラシ

ピーメンテ®

PMAINTE® PM-323

1 毛が柔らかい

腫れ、炎症の部位に優しい

太さ **3mil*** (0.0762mm)

* 1mil=0.0254mm

2 毛が短い

ブラッシングに
適正な毛のコシ

毛の長さ 6mm

3 毛の本数・密度が高い

マッサージ効果が高い

4 ヘッドが小さい

局所に届くように設計



全長 175mm (原寸大)

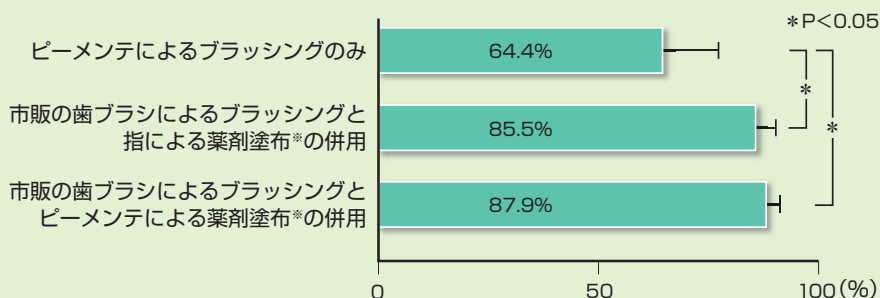
包装：1本箱入×10

植毛列：3列
穴数：23タクト
(毛の本数は通常の歯ブラシの約8倍)

薬剤の塗布や
歯肉マッサージに
最適な歯ブラシです!



4週間後の歯周病改善率 [指標：BOP (歯肉出血)] n=36



* 1日3回毎食後のブラッシング後に1分間歯肉をマッサージするように塗布

引用文献：鈴木丈一郎 他：歯周疾患治療剤（ヒノボロン）塗布用試作歯ブラシのプラーク除去および歯肉炎症改善効果。日歯周誌，50(1)：30-38，2008。（一部改変）



製造販売元
株式会社 ジーシー昭和薬品
東京都板橋区蓮沼町76番1号

TEL:0120-648-914
(受付時間)9:00~17:30 (土・日・祝日・弊社休日を除く)

PMT80201L
2022年4月 (F-2204MB)

プラディア® 「培地」

PLADIA

貯法：室温保存
使用期限：5年（外箱に表示）

プラディアは、根管内の細菌簡易培養検査を簡便に行えるよう調製された、チオグリコール酸を含む液体培地（アンプル入り）です。

【使用上又は取扱い上の注意】

1. 使用上の注意

- (1) 本品は注射剤として使用しないでください。
- (2) 冬期又は冷室に保存中、細かい粒状物が析出して混濁したように見えますが、寒天や発育促進物質の低温による析出です。試験前にお湯に浸し加温すれば、容易に溶解します。
- (3) アンプル培地にペーパーポイントを投入する場合は、ペーパーポイント全体が培地に浸るようにしてください。
- (4) 根管充填の時期決定については、他の関連する検査結果や臨床症状等に基づいて総合的に判断してください。

2. 取扱い上の注意

(1) 使用時

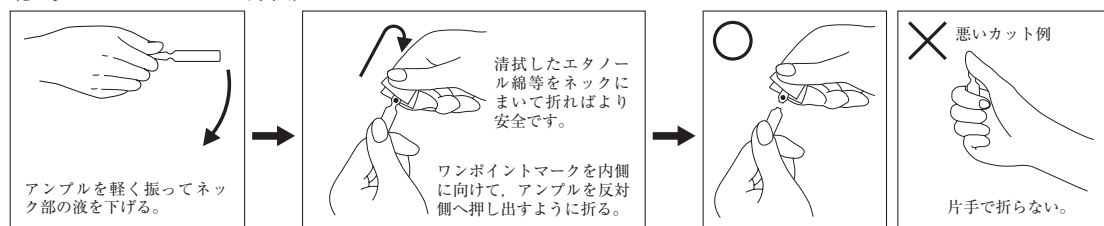
感染の危険を避けるために使い捨て手袋を着用してください。

(2) アンプルカット時

本品はワンポイントアンプルですが、アンプルのカット部分をエタノール綿等で清拭してからカットしてください。その際、カット部分で手指を傷つけないよう十分に注意してください。

片手で折るとケガをすることがあるので避けてください。また、ワンポイントマークからずれて折り曲げたり、斜め方向に引っばるよう折り曲げたりはしないでください。

〈参考：アンプルカット方法〉



3. 廃棄上の注意

使用後のアンプル培地、アンプルキャップ等は汚染に十分注意の上廃棄してください。

培養後のアンプル培地はあらかじめ準備しておいた3～5%クレゾール石鹼液の容器内に培養液をあげるようにしながら浸漬し、消毒してから廃棄してください。

アンプルキャップはそのまま浸漬して処理しますが、火焰によって滅菌することもできます。

【包装】

培地（アンプル）：100管

他にプラディア用として以下の製品が販売されています。

- | | | |
|-----------|--------------------------------|---------------------|
| ・ペーパーポイント | 100本（50本×2）
（アルミキャップ大 1個含む） | 室温保存、使用期限は5年（外箱に表示） |
| ・レサズリン紙 | 100枚（25枚×4） | 室温保存、使用期限は5年（外箱に表示） |
| ・アンプルキャップ | 20個 | |

※※【製品情報お問い合わせ先】

株式会社ジーシー昭和薬品

〒113-0033 東京都文京区本郷一丁目28番34号

TEL：0120-648-914

<受付時間> 9:00～17:30（土・日・祝日・弊社休日を除く）

※※
※

GC

製造販売元

株式会社ジーシー昭和薬品

東京都板橋区蓮沼町76番1号

5905C-22FA

参 考

【細菌簡易培養の手技】

〈準備する器具〉

細菌簡易培養検査に通常使用される器具、小型フラン器、乾熱滅菌器等。

〈前 処 置〉

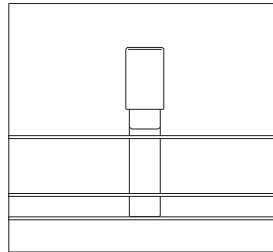
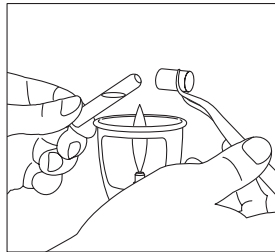
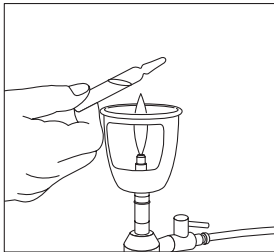
1. 被検歯にラバーダム防湿を行い、患歯及びその周囲のラバーシートを消毒する。
2. 滅菌したパー又はエキスカベータで仮封材を除去した後根管内に包摂した綿栓を取り出す。
(根管内に残存する消毒液があれば、これを取り除く処置を必ず行うこと。)
3. 滅菌したピンセットを用い、ペーパーポイントで、根管を清拭して残存する消毒液を除去すること。
綿栓を用いてもよいが、いずれの場合でも乾熱滅菌器などを用い、その都度必ず滅菌してから根管を3～4回反復清拭する。
綿栓ブローチはあらかじめ数本滅菌しておくことと便利である。
ピンセットは使用する前に必ず火焰を通して滅菌する。

〈細菌を取扱う場合の注意〉

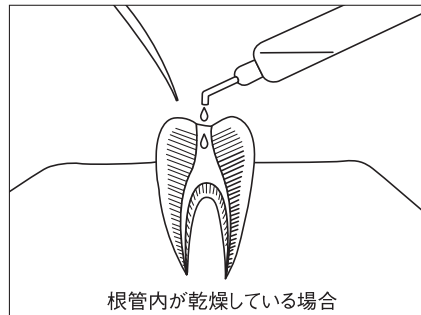
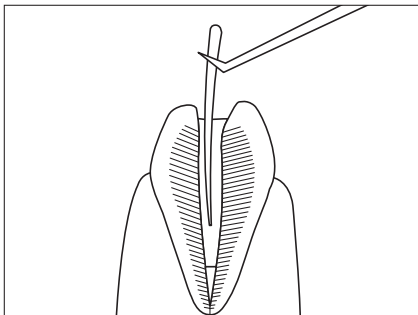
- ①部屋の窓を閉めて埃や風を入れない環境を作る。
- ②手や器具はその都度十分に滅菌して他の雑菌の付着を防ぐ。
- ③空気中に浮遊している雑菌の混入を防ぐために、操作はガスの炎の上で行う。

〈使 用 方 法〉

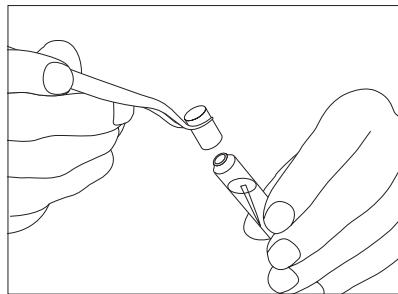
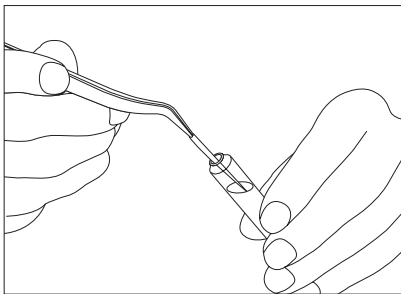
1. アルコール綿又はガスの炎でネックを消毒し、アンプルをカットする。アルミ製のキャップはピンセットではさみ、ガスの炎で中と外を十分に滅菌し、カットしたアンプルにかぶせ小型の試験管たてに立てておく。



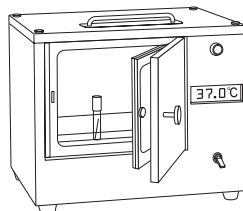
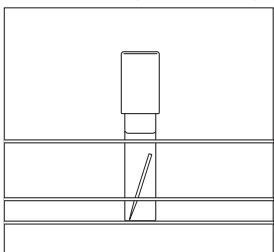
2. 滅菌したペーパーポイントをピンセットで取り出し、根管内に深く挿入し、約1分間放置する。
根管が乾燥している場合は、根管内に1～2滴の滅菌生理食塩水をミニウムシリンジで滴加してからペーパーポイントを挿入すること。



3. 根管内のペーパーポイントを取り出し、あらかじめ準備しておいたアンプル培地にペーパーポイントを投入し、次いでキャップをかぶせる。
アンプル開口部から雑菌が入らないよう注意しながら操作する。



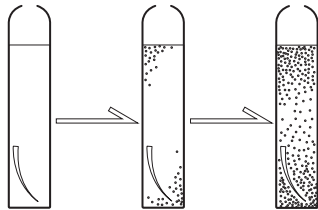
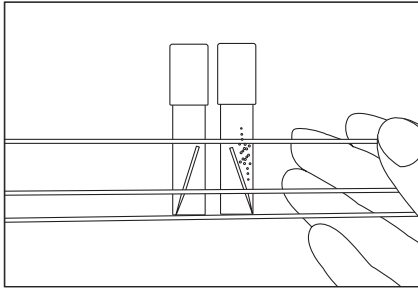
4. ペーパーポイントの入ったアンプル培地は小型の試験管たてに立て、37℃に保たれているフラン器に入れ1～2昼夜(16～48時間)培養する。



5. 培養後、アンプル培地を取り出し、混濁の有無を調べる。

アンプル培地が、混濁しているときは陽性 (+)、混濁していないときは陰性 (-) と判定する。

未開封のアンプル培地を1本並べて比較対照すると、混濁の識別が容易になる。



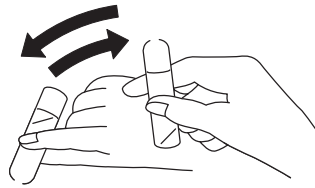
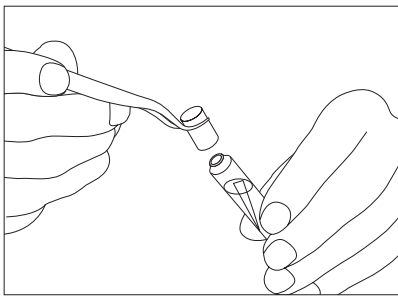
濁りがある → 細菌あり = 陽性 (+)

濁りがない → 細菌なし = 陰性 (-)

6. 培養後の判定で、菌の成育が僅かか又は菌が存在しない場合等、肉眼的には陽性 (+)、陰性 (-) の判定がしにくいときは、レサズリン紙を1枚投入する。なお、投入する前に必ずアンプル培地を数回反復倒立させること。

アンプル培地の開口部は小さいので液の流出はない。

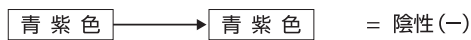
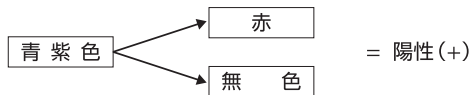
この操作はアンプル培地の内容を均一にするとともに酸素の混入を促し、レサズリン紙の変色を誤りなく識別するために行うものである。



7. レサズリン紙の青紫色が、赤色又は無色に変わったときは陽性 (+) と判定する。一方、青紫色のままであれば陰性 (-) と判定できる。アンプル培地中のレサズリン紙の変色は、およそ2~3分で判定できる。

判定が陽性 (+) の場合は、根管治療の原則とされる「根管の清掃、拡大」「根管の消毒」を十分行う必要がある。

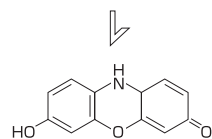
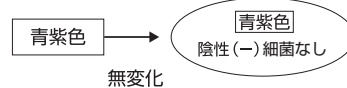
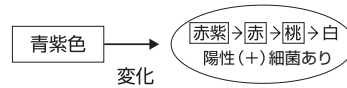
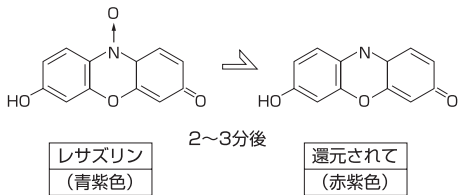
判定が陰性 (-) の場合は、根管治療の原則とされる「気密な根管充填」に適した根充材を用い、確実に充填を行う。なお検査は数日の間隔をおいて2回行うのが常法とされている。



培地中の変色は、およそ2~3分で判定できる。

〈レサズリンの反応について〉

レサズリンの反応は細菌が生育すると、色素を還元する性質をもった物質が培地中に生成される原理を利用している。



根管形成潤滑材

リムエード

REAM-AID

本品の使用により

- (1) 根管形成の時間が著しく短縮できます。
- (2) 根管穿通できなかったケースもできるようになります。
- (3) オーバーインスツルメンテーションを防ぎます。
- (4) 粘性も加味されていますから感染菌質の切削片をファイルに粘着させて取り出せるもので、切削片が根尖孔外に出ることを防ぎます。
- (5) わん曲根管も容易に根管形成できます。
- (6) 理想的なアピカルシート形式に際し、そのインスツルメンテーションのコントロールが容易になります。
- (7) 根管壁がスムーズになるので加圧充填が容易になります。
- (8) 歯質や根尖部組織に為害作用はありません。
- (9) 水によく溶けるので常法の洗浄操作により、簡単に除去できます。

【組成・性状】**〈組成〉**

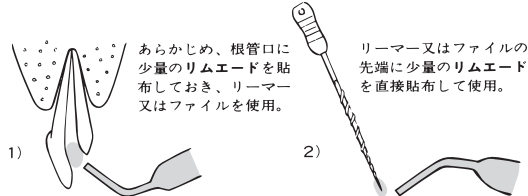
(食添) ポリアクリル酸ナトリウム、(日局) メチルセルロース、
(日局) プロピレングリコール、(食添) 食用青色1号アルミレーキ、
などからなっています。

〈性状〉

滑らかな、青色の軟膏様物質

【適応】

リーマー、ファイルの操作性補助

【使用方法】**【取扱い上の注意】****〈注意〉**

- ご使用後は必ずゴムキャップをして下さい。
- もしキャップをせずに先端が固まったときは、少し切り取って下さい。
- 紫外線殺菌キャビネットには入れないで下さい。
- ご使用の際には、先端をアルコール綿等で清拭下さい。

【包装】

2g

【製品情報お問い合わせ先】

株式会社ジーシー昭和薬品

〒113-0033 東京都文京区本郷一丁目28番34号

TEL 0120-648-914

<受付時間> 9:00～17:30 (土・日・祝日・弊社休日を除く)

製造販売元

GS**株式会社 ジーシー昭和薬品**
東京都板橋区蓮沼町76番1号